



## 2023 春闘 3 黒字化は 社員の努力の結果

## 安心して生活できる賃金を求めよう!

JR東日本は、一昨年に定期昇給を半減しました。また、一時金の削減も行い、「コロナ禍」とはいえ私たちには相当なダメージがありました。こうした賃下げは、私たちの生活そのものを直撃し、「もう少しましな会社」を求めて、早期退職者が増加したと見ています。

### 【過去5年間の離職者数（定年退職を除く）】 ※組合調査

年度	社員数	離職者数	離職者率
2017年	5万6445人	237人 ※1	0.4%
2018年	5万4884人	267人 ※1	0.4%
2019年	5万3196人	344人 ※1	0.6%
2020年	5万1560人	568人 ※2	1.1%
2021年	4万9780人	767人 ※2	1.54%

※1：JR東日本グループ「サステナビリティレポート2019」から

※2：JR東日本グループレポート2022「ダイバーシティ推進に関する指標」から

組合の試算では、2021年は700人を超える若手社員がJR東日本から去っていきました。職場では「えっ！そんなに辞めているんですか？」との声も聞かれています。賃金は、「個人情報」というベールに隠されていますが、引き下げられ、苦しい思いは全体が共通しています。

## 魅力ある会社にするためにも

## 2023 春闘 大幅賃上げを勝ち取ろう!